

法学委員会 グローバル化と法分科会（第26期・第2回）
議事要旨

日 時：令和6年5月19日（日）15:00～16:15

場 所：オンライン開催

出席者：（定足数を満たし成立）小畑郁、川嶋四郎、浅田正彦、浅野有紀、安部圭介、岩澤雄司、河野真理子、笹倉香奈、佐藤義明、高山佳奈子、瀧川裕英、竹村仁美、中谷和弘、濱真一郎、早川眞一郎、林秀弥、林貴美、平山幹子、横溝大
欠席者：阿部克則、江島晶子、片山直也、金山直樹

<議事>

（1）今期活動の問題意識・活動方法・想定スケジュール

小畑委員長より、日本社会からグローバルな社会への発信と双方向のコミュニケーションの重要性という問題意識が提示され、この問題意識を委員間で共有したうえで、今期の活動方法を検討した。ゲストスピーカーの人選と話題提供の内容について、活発な討論を行った。今期の成果公表予定に関して、3年目にシンポジウム等を企画することを目指しつつ、今期は議論の充実化を図る方針を確認した。今後のスケジュールについて、第3回の分科会は、8月後半から10月、第4回は11月から1月に計画し、それぞれの開催時刻は海外にいるゲストスピーカーと委員のため、時差を考慮することが了承された。

（2）当面の分科会の計画

8月後半から10月中に第3回分科会を開催すべく、ゲストスピーカーの選定および依頼を含めて、役員間で早急に調整する方針が確認された。

（3）その他

第191回総会における日本学術会議のあり方の審議状況について報告がなされた。

以上